

お知らせ

広島大学医学雑誌

Hiroshima Journal of Medical Sciences

平成11年 優秀論文賞

論文タイトル：Analysis of *Mec* Regulator Genes in Clinical Methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* Isolates according to the Production of Coagulase, Types of Enterotoxin, and Toxic Shock Syndrome Toxin-1

著者：山東 敬弘 ほか

所属：広島大学医学部外科学第一講座

掲載雑誌：Hiroshima Journal of Medical Sciences 48 (2): 49–56, 1999

広島大学医学雑誌

Hiroshima Journal of Medical Sciences

平成12年 優秀論文賞

論文タイトル：Gene Therapy for Murine Renal Cell Carcinoma Using Genetically Engineered Tumor Cells to Secrete Interleukin-12

著者：笹岡 良信 ほか

所属：広島大学医学部泌尿器科学講座

掲載雑誌：Hiroshima Journal of Medical Sciences 49 (1): 29–35, 2000

「広島大学医学雑誌」投稿規定

1. 原稿は医学、薬学、保健学（看護学、理学療法、作業療法）に関する総説、原著および雑報とする。原著はオリジナルで未発表のものであり、現在他誌に投稿されていないものに限る。なお、編集委員会で採否が決定されるまでは他の刊行物に投稿しないこと。また、掲載「可」となった論文は許可なく他の刊行物に発表しないものとする。
2. 投稿原稿の掲載の可否は、編集委員会が依頼した査読者を経て、編集委員会において決定される。
3. 掲載は原則として受理された順とするが、編集委員会で不適当と認めた論文は掲載をお断りするか、また書き直していただくことがある。
4. 論文受理後、一切の著作権は広島大学医学出版会が保有する。
したがって著者であっても、その一部もしくは全部を転載するときは、予め広島大学医学出版会の承認を得なければならない。
5. 原稿は3部（図・表も含み2部はコピー可、ただし写真は上質のコピーであること）。A4版にワープロを用い、12ポイントで35字×20行とする。原則として、原稿は返却しないので、返却希望の場合は投稿時に申し出ること。
6. 原稿は表題、著者名、所属機関名、総括（800字以内）、序文、材料と方法、成績、考察、謝辞、参考文献の順とし、通しページを付ける。Key word（5個以内）とランニングタイトル（20字くらい）をつける。構文は簡潔に、図表も必要最小限に止める。
7. 原稿には英文の表題、著者名、所属のほか、英文抄録（200語以内）とその日本語訳を最後に添える。
8. 原稿は平易な文章で、平仮名まじり楷書とし、特別な術語以外は常用漢字、現代仮名づかいとする。句切、句読を明らかにし、改行する時は行の最初を一字あけて書きはじめる。
9. 外来語は片仮名、外国人名は外国つづりのままとする。学名その他イタリックを要する字句にはアンダーラインを引く。
10. 表、図及び写真には表1、図1、写真1あるいはTable 1., Fig. 1., Photo. 1. と一連番号を記して説明文（英文が望ましい）をつける。それぞれの右下に著者名を記入しておく。英文の場合は必ずタイプすること。図は白紙または青色グラフ用紙に、そのまま製版可能な状態にし、大きさ（横巾サイズ：最小6.5cm～最大13cm）を赤で指定しておく。写真は、

1部は印画紙に焼き付けたものが必要で、残りの2部はハーフ・トーンをよく再現されたもの（写真に近いもの）であれば、コピーでも良い。

原稿右欄外には、図・表・写真の挿入箇所を「赤」で明示しておくこと。

11. 度量衡の単位は cm, mm, μm , Å, ml, μl , g, μg , ng, °C, rpm, cpm, Ci, mCi, μCi , mM, μM , hr, min, sec などとし、符号のあとに点をつけない。（例外として l は liter 又は liters にする）
12. 参考文献はアルファベット順に並び、本文の最後にまとめる。以下の記載例に従い、ピリオド、コンマ、スペース等にも注意すること。本文中の文献番号は右肩に片括弧でつける例^{1,4-6,15)}。著者名は全員記載すること。
 1. 浅井栄二 1978. 点滴静注による Dibekacin (パニマイシン) の使用経験. 基礎と臨床 **13**: 925-931.
 2. Bille, J. and Glauser, M. P. 1981. Prevention of acute and chronic ascending pyelonephritis in rats by aminoglycoside antibiotics accumulated and persistent in kidneys. Antimicrob. Agents Chemother. **19**: 381-385.
 3. Dowell, V. R., Jr. 1975. Wound and abscess specimens, p. 70-81. In A. Balows (ed.), Clinical microbiology. How to start and when to stop. 6. Charles C. Thomas, Publisher, Springfield.
 4. 深谷一太 1980. 抗生剤の併用問題, p.125-137. 上田 泰, 真下啓明 (編), 今日の化学療法. ライフ・サイエンス, 東京.
 5. Goodman, L. S. and Gilman, A. 1975. The pharmacological basis of therapeutics, 5th ed. The Macmillan Co., New York.
 6. 上田 泰, 清水喜八郎 (編) 1975. 化学療法ハンドブック. 永井書店, 東京.3～6は単行本の記載例で、3,4はその一部引用、5,6は全体の引用を示す。英文の場合は必ずタイプすること。
13. 別刷は50部単位とし、掲載料と引きかえにお渡しする。
14. 著者校正は初校正のみとし、校正は1週間以内とする。校正時には語句のまちがいの訂正のみとし、文章の変更や新たな追加は認めない。やむをえぬ内容の変更は全額著者負担とする。
15. 掲載料は別途規定により著者に請求する。

平成13年6月25日印刷

平成13年6月28日発行

編集兼発行者

編集委員 (○委員長)

井内康輝, 太田 茂, 梶原博毅, 栗栖 薫, 小嶋 亨
小西美智子, 瀬山一正, 中村重信, 奈良 勲, 宮前珠子
○吉田哲也, 渡辺敦光

印刷所

中本総合印刷株式会社 広島市南区大州5丁目1-1 電 (281) 4221 (代)

発行所

広島大学医学出版会 広島市南区霞1丁目2-3 電 (257) 5157

振替 01300-9-14746